

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

[めざす学校像]

- 1 「質実剛健」にして「文武両道」に励む生徒を育てる学校
- 2 母校への誇りと地域への愛を持ち続ける生徒を育てる学校
- 3 「骨太の人格」を備え21世紀を支える人材をつくる学校

質実剛健：夢実現のため躊躇せず挑戦しへこたれず諦めず地道に努力する気質
文武両道：勉強にも部活動にも行事にも真剣に全力で取り組むこと
骨太の人格：基本がしっかりとしていて決してぶれない心と体

[生徒に育みたい力]

- 夢と志を語る力（社会に貢献する自分を想像する力／目標を具体的に語る力）
- 努力し続ける力（全力で学び続ける力／貪欲に挑戦し続ける力）
- 人権を尊重し人と繋がる力（仲間をつくる力／仲間を支える力／仲間を率いる力）

夢：将来実現させたいと思い描いている願い
志：心に思い定めたある方向をめざす気持ち

[教職員に望む力]

- チームの一員として自らの役割を自覚し「生徒に育みたい力」を身につけさせる力（豊かな人間性・実践的な専門性・開かれた社会性）

2 中期的目標

1 「夢と志を語る力」の育成

- (1) 系統的進路指導（なりたい自分から逆算する指導／大学入試改革への対応） ⇒ 進路指導満足度をR6年度に90%
(R01:78.7% R02:78.9% R03:84.7%)
- (2) 同窓会の人的資源活用のさらなる推進
- (3) 大教大教職コンソーシアム事業への参加促進／有識者による講演の充実
- (4) アドバンス教育コースの充実
- (5) 進路実現満足度の向上 ⇒ 満足度80%以上をR6年度まで維持／その結果、国公立大現役進学者数をR6年度に70人(25%)
(R01:62人 R02:73人 R03:55人)

2 「努力し続ける力」の育成

- (1) 高い部活動入部率の維持 ⇒ R6年度まで90%以上の維持 (R01:91.4% R02:95.0% R03:94.4%)
- (2) 課外学習時間の増加 ⇒ R6年度には2時間10分/人・日 (R01:1時間40分 R02:1時間55分 R03:1時間54分)

3 「人権を尊重し人と繋がる力」の育成

- (1) 学校教育自己診断生徒会行事への積極的取組姿勢肯定率 ⇒ R6年度まで90%以上の維持 (R01:93.0% R02:94.8% R03:96.1%)
- (2) 高い部活動入部率の維持 ⇒ R6年度まで90%以上の維持 (R01:91.4% R02:95.0% R03:94.4%)
- (3) 地域、学校園等関係機関と連携した活動の充実
- (4) 人権教育・教育相談活動の充実といじめ防止

4 「チーム八尾高」を支える教員力の向上

- (1) 学校経営計画中期的目標を踏まえた目標設定（全教職員）と高い同僚性を基盤とした業務の推進
- (2) 経験年数の少ない教員を育てるOJTの充実と教職員間のコミュニケーションのさらなる活性化
- (3) 授業力向上のための取組みの充実で授業アンケート結果平均の向上 ⇒ R6年度には3.5 (R01:3.26 R02:3.37 R03:3.42)
- (4) 業務の効率化と時間の有効活用による超過勤務時間縮減と生徒に向き合う時間の拡充
- (5) 大学入学者選抜改革に即応できる教員力の向上

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和4年 月実施分〕	学校運営協議会からの意見
<p>(生徒対象)</p> <p>○全 38 項目中 27 項目で肯定率 80%以上、うち次の9項目で 90%以上 「学力やコミュニケーション能力等を身につけることができる」94%、「骨太な精神を身につけることができる」94%、「進路実現のための学習支援が活発」92%、「将来の進路や生き方について考える機会がある」91%、「部活動に積極的に取り組んでいる生徒が多い」97%、「部活動指導に積極的に取り組んでいる先生が多い」94%、「生徒会行事に積極的に取り組む生徒が多い」96%、「生徒会行事は生徒会を中心に運営されている」95%、「八尾高へ入学してよかった」91%と肯定率が高い数値を示している。生徒たちが教員との信頼関係を築きながら、充実した学校生活を送っていることが伺える。</p> <p>○全 38 項目中 50%以下の項目は 1 項目で、「八尾高校 HP や各種のブログ等をよく見る」昨年同様 29%で肯定率が低い。学習支援クラウドサービスで機能を代替している影響がでていると思われる。</p> <p>○今年度からの新規項目の「生徒 1 人 1 台を効果的活用している」61%という状況であるので、これを向上させる取り組みを進めていくことが必要である。</p> <p>(保護者対象)</p> <p>○全 36 項目中 27 項目で肯定率 80%以上、うち次の 8 項目で 90%以上 「大教大との連携はよい」94%、「先生は子どもの評価を適切・公平に行っている」91%、「学校の雰囲気がよく、生徒がいきいきしている」96%、「勉強と部活動の両立を大切にできる雰囲気がある」92%、「子どもは部活動や行事から多くのことを学んでいる」93%、「行事に積極的に参加できるように工夫されている」93%、「いじめについて真剣に対応してくれる学校」91%、「八尾高校に進学させてよかった」95%と肯定的率が高い数値を示しており、本校の様々な取り組みが保護者から指示されていることが伺える。今後もさらにそれぞれの取り組みを充実させていくことが必要である。</p> <p>○全 36 項目中 50%以下の項目はない。</p> <p>(教職員対象)</p> <p>○全 46 項目中 26 項目で肯定率 80%以上、うち 13 項目で 90%以上 50%以下の項目は 5 項目、特に「授業・部活動・行事等のバランスがよい」49%については、「部活動と勉強の両立」をどう図っていくかが課題である。</p>	<p>第 1 回 (令和 4 年 5 月 16 日 (月))</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動の入部率が高いことはいいことであり、部活動をしながら進路の自己実現をできていることは魅力的である。 若い先生とのコミュニケーションをとることは大切であり、若い先生に対して指導する機会を作っていることはいいことである。 進路指導のロードマップを生徒に示していることはいいことで、高校生にとってもわかりやすく、学校としても進路指導の現在地がわかりやすく指導に一貫性が出ていることである。 <p>第 2 回 (令和 4 年 10 月 17 日 (月))</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の広報活動では、「八尾高校の強みである 3 本柱 (学習・部活動・行事)」を出す必要がある。 公立高校の良さは生徒の自主性を大切に、発想力を身につけることができる点であり、その点についてもスクールミッションに入れるべきではないか。 スクールミッション案について、『文武両道』『質実剛健』という言葉は堅苦しい感じがするので、もう少し柔らかな言葉に替えたり、言葉を前に付け加える方がいいのではないかと。 <p>第 3 回 (令和 5 年 2 月 13 日 (月))</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断において生徒の評価が高いことは素晴らしい。 学校教育自己診断で、生徒の評価があがっている一方で保護者の評価が下がっているのは残念であるが、これは生徒の部活動などでの帰宅時間が遅くなることで保護者と学校の話を減らしていることが影響しているのではないかと。生徒からではなく、学校から保護者へのアプローチする仕組みを作ることによって学校の教育活動を知ってもらったり、ホームページを更新し、みてもらうことでもう少し評価が上がるのではないかと。 保護者のホームページの閲覧が少ないようだが、PTA の役員などにもアドバイスをもらい、保護者のニーズなどを把握することも必要ではないかと。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 [R3 年度値]	自己評価
1 「夢と志を語る力」の育成	(1) 系統的な進路指導 (2) 府立高校教職コンソーシアム事業への参加者数拡充 (3) 進路実現満足度の向上	(1) 教員の進路指導力の向上 (2) 府立高校教職コンソーシアム事業に参加することのメリットについて 1、2 年生全員に周知徹底 (3) 講習の充実と教員の進路指導力向上	(1) 学校教育自己診断 (生徒) の「進路指導満足度」を 85%に [84.7%] 国公立大現役合格者数 63 人 (22.7%) [55 人 (18.9%)] 進路指導力向上研修 3 回 [2 回] (2) 府立高校教職コンソーシアム事業参加生徒数の増加 [60 人] (3) 進路実現満足度 80%以上の維持 [80.1 %]	進路指導満足度 86.9% (○) 国公立大現役合格者数 64 人 (23.2%) (◎) 進路指導力向上研修 4 回 (○) 府立高校教職コンソーシアム事業参加生徒数 35 人 (△) 進路指導満足度 86.2% (◎)
2 「努力し続ける力」の育成	(1) 高い部活動入部率の維持 (2) 課外学習時間の増加	(1) 部活動体験 Week の実施 / 学校説明会における部員の活用 / 地域 FM を通じた部活動紹介の継続 (2) 「現役合格までのロードマップ」に沿った進路指導で学習意欲の向上を図る	(1) 入部率 90%以上の維持 [94.4%] (2) 課外学習時間平均 2 時間以上 [1 時間 54 分]	入部率 94.5% (○) 課外学習時間平均 1 時間 43 分 (△)

府立八尾高等学校

<p>3 「人権を尊重し人と繋がる力」の育成</p>	<p>(1) 主要学校行事満足度の向上 (2) 高い部活動入部率の維持 (3) 地域、学校園等関係機関と連携した活動の充実 (4) 人権教育・教育相談活動の充実といじめ防止対策の充実</p>	<p>(1) 生徒主体の主要学校行事（文化祭・体育祭等）企画・運営をより一層推進 (2) 2(1)に同じ (3) 地域や近隣学校園との連携促進 (4) 当事者を講師とした講演会等を通じた人権教育の充実／教育相談係会の機能強化（個別の支援計画の作成主体として学年と連携）／いじめ防止委員会の定例開催と迅速正確な事象対応</p>	<p>(1) 学校教育自己診断（生徒）の「生徒会行事積極的取組姿勢肯定率」90%以上を維持 [96.1%] (2) 2(1)に同じ (3) 地域、学校園等関係機関との連携事業実施回数 30 回以上 [25 回] (4) 学校教育自己診断（生徒）「人権教育肯定率」90%維持[93.0%]／学校教育自己診断（生徒）「いじめ対策満足度」85%以上の維持[89.3%]</p>	<p>生徒会行事積極的取組姿勢肯定率 96.4% (○) 入部率 94.5% (○) 地域、学校園等の連携 21 回 (△) 人権教育肯定率 86.8% (△) いじめ対策満足度 89.2% (○)</p>
<p>4 「チーム八尾高」を支える教員力の向上</p>	<p>(1) 建設的意見を組織として具体化する同僚性の高い教職員集団の形成 (2) 授業力向上のための取組みの充実 (3) 業務の効率化と時間の有効活用による超過勤務時間縮減と生徒に向き合う時間の拡充 (4) 同窓会や報道機関と連携した戦略的広報活動の展開</p>	<p>(1) 意思決定過程の見える化で、チームとして課題解決にあたる経験を共有 (2) 授業動画を活用した WEB 授業力向上研修のバージョンアップ／工夫のある授業等を紹介 (3) 一斉退庁日の遵守と部活動ガイドラインに基づく部活動指導業務の管理 (4) ホームページのさらなる魅力化と JR 八尾駅経由で通学する生徒の取り込み／卒業生や保護者の協力を得た学校広報活動の展開</p>	<p>(1) 学校教育自己診断（教職員）の「学校運営への教員の意見反映」肯定率 80%を維持[80.0%] 学校教育自己診断（教職員）の「校長の考え方明示」肯定率 95%維持 [98.3%] 学校教育自己診断（教職員）の「校長のリーダーシップ発揮」肯定率 95%維持[98.3%] (2) 授業アンケート結果平均の向上 [3.42] (3) 超過勤務時間を前年度比5%縮減 [2.5%縮減] (4) 志願倍率の上昇 [1.25 倍]</p>	<p>学校運営への教員の意見反映肯定率 67.3% (△) 校長の考え方明示肯定率 90.9% (△) 校長のリーダーシップ肯定率 80.1% (△) 授業アンケート結果平均 3.40 (△) 超過勤務時縮減率 7%増加 (△) 志願者倍率 1.41 倍 (◎)</p>